

令和7年度 日進中学校 第1回学校運営協議会 議事録

令和7年6月10日(火) 10:20～ 校長室

- ◎ 出席者：委員9名、オブザーバー 5名(地域学校協働活動推進員1、学習政策課4)
- ◎ 欠席者：5名
- ◇ 傍聴人：1名

1 開会のことば

2 学校運営協議会について

3 委員任命・自己紹介

4 議題

(1) 会長選出

- ・ 全会一致で会長が選出された。

(2) 副会長指名

- ・ 会長より校長を指名。全会一致で承認。

(3) 令和7年度の学校運営について

○ 教育目標について

- ・ 校訓「さとく・すなおに・たくましく」を基調に命あふるる生徒の育成を目指す。「命あふるる生徒」とは、校歌の歌詞にある言葉より引用。活力・生命力にあふれる心豊かな生徒のこと。
- ・ これまでの五本柱(挨拶・学習・行事・福祉・奉仕)を三本柱(挨拶・学習・行事)に改めスリム化。福祉・奉仕は行事の中に取り込むことで、三つにポイントを絞ることとした。
- ・ 本年度の重点努力目標の中の「カ、教職員の働き方改革の推進」として、本年度は月に一回定時に帰る日を設定する。自宅に帰り、空いた時間の使い方を考える機会をつくることで職員の働き方改革をさらに進めていきたい。

○ 年間行事計画について

- ・ 5/16 1年校外学習 自衛隊機墜落事故の影響で、急遽明治村からリトルワールドに変更。班ごとに園内の謎解き企画を楽しんだ。
- ・ 5/21、22 2年野外活動 郡上八幡にて一泊二日。カレー作り、キャンプファイヤー、トーチトワリングを実施。
- ・ 5/27～29 三年修学旅行 東京、山梨方面。二日目夜は生徒の企画で大いに盛り

上がった。

・ 今後の予定

10/2 歌声の会…市民会館改装中のため、本校体育館にて。

10/30 体育大会…熱中症予防の観点から、歌声の会と開催順序を変更。

○ 生徒の様子について

・ 全校生徒740名(分校も含む)

・ 昨年度より、学級数1減。職員数も定員2名減。

・ 2年生は1クラスほぼ40名の定員いっぱいの状況。

・ 楽しい行事を乗り越え、燃え尽き症候群の子も。欠席が増えつつある状況もみられる。昨年開室した校内ハートフレンドをうまく利用して、自宅にひきこもることなく登校しようとする生徒の姿もある。

※ ここまでの学校運営の報告と授業参観の感想

・ 校内ハートフレンド事業…不登校に対する取り組みとしてとても良い。

・ クラスの定員が多いと感じた。もう少しゆとりがあるとよい。

・ 校内ハートフレンドの部屋を実際に見て、ほっとできる雰囲気があり、この部屋なら学校に来ることができるのではないかと感じた。

・ 先生の話をよく聞ける生徒が多い印象。いつもと違う姿だったとしても、それもよい。誰か(お客様)が来た時にきちんとできる「わきまえる力」が大切なのではないか。

・ 先生の熱量の高さを感じる。先生がやりたことをのびのびとできる環境をつくる必要性を感じる。

・ 先生の負担を減らす方法の一助として地域学校協働活動を通して、地域で何かできることを提案していきたい。

・ 教え子が先生として戻ってくる姿がかつて多くあった。先生が疲れた姿を見せているのは、教師という仕事に希望がもてない。日進中学校の先生の生き生きとした姿が、また新たな仲間を増やすことにつながるのではないかと期待している。

(4) 今年度の活動について

ア 今年度の協議内容について

・ 第2回、3回の協議内容については、変更の可能性もある。

イ 地域との連携について

・ 紹介された内容以外にもできることがあれば検討していきたい。

・ 前期地域清掃ボランティアについて。日程を7/25で実施予定。

・ 登下校の見守り隊について。コロナの影響でずっと募集ができていなかったが、昨年度回覧版で募集をかけた。新たにやってくれる方を探すだけでなく、既に継続的にや

ってくださいている方を把握した。結果13名の方に手を挙げていただいた。この活動は単発ではなく、毎年継続的にやっていきたい。今年度も、回覧板にて新規の募集を行っていく。回覧の時期は未定。

- ・ 職場体験学習について。今年度より事業所とのコーディネートで4中学校合同で行っていく。
- ・ 特別支援学級の花植えの授業について。生活単元学習の授業の中で行う。講師を南小で花ボランティアのリーダーをしてくださっている方に依頼。土づくり、花苗植えの二回の授業とその後の花壇のメンテナンスについて指導していただく。生徒が花を育てる経験を通して、生き物を大切に作る気持ちを育むことを目標としている。ゆくゆくは、保護者(まずは支援級保護者)に声をかけて花壇を一緒に管理して下さるボランティアを募集予定。

(5) その他

- ・ 「日中健児を支える会」について

先週、保護者にむけ紙媒体とコドモンで配信、募集。地域の方にも一緒になって支えていただきたい。

- ◎ SNSトラブルについて意見を交わしたい。

学校外で起きていることであっても、いじめなどに繋がる危険性があり、先生が時間外に対応する事案も発生している。

- ・ 生徒にむけた情報モラル教室は開催しており、今後も継続していく。一方で保護者・地域にむけての講座を開く機会が必要ではないか。地域学校協働活動の中で、講師の紹介や、生徒向けの新しい形の講座等をふくめ、考えていきたいと感じる。
- ・ 問題に感じている。SNSだけでなく、情報媒体そのものの扱い方について問題意識を感じる。一番の課題は保護者の情報モラル教育ができていない。どのようなリスクがあるかを理解できていない保護者が多い。どのようなプログラムなら生徒・保護者の理解が深まるのかを考えていきたい。学校単位、地域単位ではなく、市単位で考えていく必要性を感じる。
- ・ モラルやルールを説くばかりではなく、使うことが怖くなるような事例の話、裁判沙汰など厳しい話を織り交ぜながら話を聞くのが良いのではないか。
- ・ 講義を聴くだけでは効果が得られない。講義と並行してロールプレイなど実践体験方式のワークを取り入れると教育的効果が高まるのではないか。
- ・ ネットの良さと怖さの両方を体験できる講座の方が良い。ただし、学校の授業時間内でやっていくことが現実的なのか、検討の必要がある。
- ・ 講師や講座は色々あるが、いかにしてやっていくかが課題。
- ・ 「するべからず」の教育では意味がない。警察、キャリア、アプリそれぞれの視点か

らの話を聞くことも良いのではという意見が PTA では出ている。まずは保護者に教育をしていきたい。

- ・ 講師・先生・親から子どもたちに伝えるよりは、上級生から下級生へ伝える方が伝わりやすい。同世代で伝えていく方がリアルな形で伝わるのではないか。さらに子どもたちがネットの便利な使い方を、地域の祖父母世代へ教える。相互のやり取りの中で、ネットのメリット・デメリットについて自ら学んでいく形がつけると理想的。

5 意見交換

- ・ ハートフレンドの一日の利用者は何人ほどか？
⇒ 多い時で10名程度、大体一日平均5、6名。ハートフレンドにも来られない生徒も数名いる。
- ・ 道の駅オープンにむけた対策は？
⇒ 朝の時間帯は開店前なので大きな影響はないと予想。帰りの時間帯は渋滞の抜け道となるため、事故が心配。学校だけでは対応しきれない。何らかの対策が必要。生徒に対しては夏休み前に指導。オープン後は見回りも検討。道の駅付近の横断歩道の線が薄くなっている。

6 その他

- 第2回学校運営協議会（予定）
11月11日（火）10時00分～ 授業参観（委員のみ）
10時20分～ 運営協議会
- 第3回学校運営協議会（予定）
2月17日（火）10時00分～ 授業参観（委員のみ）
10時20分～ 運営協議会
- 市教委より
 - ・ 報酬について

7 閉会のことば